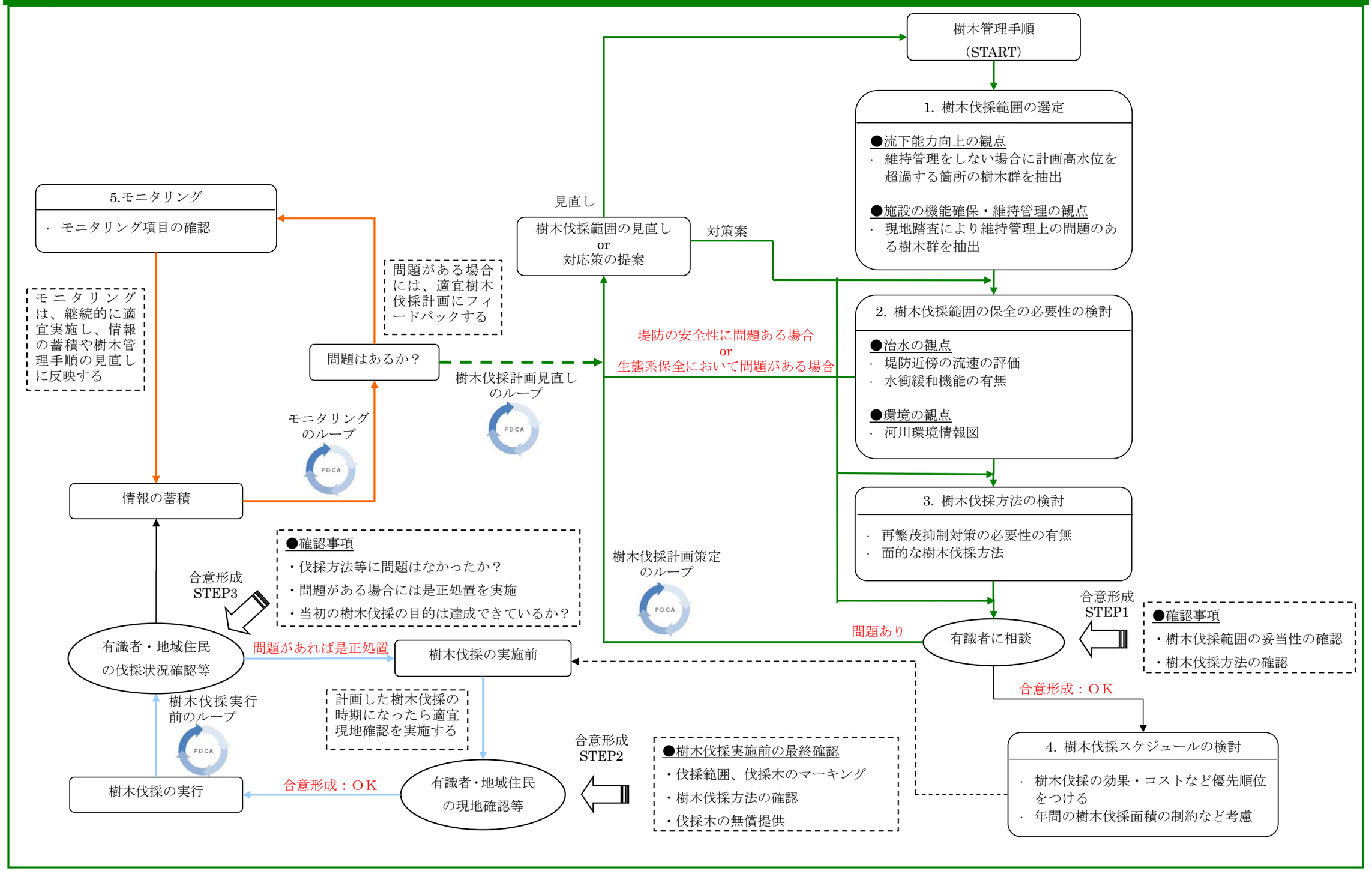
【樹木管理手順のフロー】


樹木管理手順
（START）
1. 樹木伐採範囲の選定
●流下能力向上の観点
・ 維持管理をしない場合に計画高水位を超過する箇所の樹木群を抽出
●施設の機能確保・維持管理の観点
・ 現地踏査により維持管理上の問題のある樹木群を抽出
2. 樹木伐採範囲の保全の必要性の検討
●治水の観点
・ 堤防近傍の流速の評価
・ 水衝緩和機能の有無
●環境の観点
・ 河川環境情報図
3. 樹木伐採方法の検討
・ 再繁茂抑制対策の必要性の有無
・ 面的な樹木伐採方法
4. 樹木伐採スケジュールの検討
・ 樹木伐採の効果・コストなど優先順位をつける
・ 年間の樹木伐採面積の制約など考慮
合意形成
STEP1
●確認事項
・樹木伐採範囲の妥当性の確認
・樹木伐採方法の確認
有識者に相談
問題あり
合意形成：ＯＫ
対策案
樹木伐採範囲の見直し
or
対応策の提案
見直し
堤防の安全性に問題ある場合
or
生態系保全において問題がある場合
樹木伐採計画策定
のループ
PDCA
樹木伐採の実施前
計画した樹木伐採の時期になったら適宜現地確認を実施する
有識者・地域住民
の現地確認等
合意形成
STEP2
●樹木伐採実施前の最終確認
・伐採範囲、伐採木のマーキング
・樹木伐採方法の確認
・伐採木の無償提供
合意形成：ＯＫ
樹木伐採の実行
樹木伐採実行
前のループ
有識者・地域住民
の伐採状況確認等
問題があれば是正処置
合意形成
STEP3
●確認事項
・伐採方法等に問題はなかったか？
・問題がある場合には是正処置を実施
・当初の樹木伐採の目的は達成できているか？
情報の蓄積
モニタリング
のループ
問題はあるか？
樹木伐採計画見直し
のループ
問題がある場合には、適宜樹木伐採計画にフィードバックする
5.モニタリング
・ モニタリング項目の確認
モニタリングは、継続的に適宜実施し、情報の蓄積や樹木管理手順の見直しに反映する